

第5学年 国語科学習指導案

- 1 単元 学習したことを生かして「大造じいさんとガン」 (椋 鳩十 作)
- 2 学習指導の考え方

このような子どもたちだから

本学年の子どもたちは、「新しい友達」で「人物設定を読む」読みアイテムを活用して、主人公のまりちゃんに対する見方・感じ方の変容を読み取った。また「わらぐつの中の神様」では、「人物の見方を相互に比べて読む、一行空きを読む」読みアイテムを使って、相手の立場に立ち、思いやりの心をもって生きることの大切さを読み取り、文章構成に作者の意図がこめられていることにも気付いてきている。しかし、情景などの表現の仕方に立ち止まりながら登場人物の内面にある深い心情まで読むことができる子どもはまだ少ない。

このような教材で

本教材「大造じいさんとガン」は、前書きと、4つの場面から構成されている。前書きでは、「書いてみました」「この物語をお読みください」など、この作品を通して読者に伝えたい思いがあることを前面に出している。さらに4つの場面が1年ごとの区切りとなっており、起承転結がはっきりとしているため、大造じいさんの残雪に対する見方の変化を読み取りやすくなっている。情景描写や呼称の変化、会話文などから読み取ったことを友達の考えと比較しながら話し合うことで、自分の考えを確かに行うことができ、読み確かめてきた大造じいさんの残雪への思いや、狩人としての生き方から、主題に迫ることができる教材である。

こうした特質をふまえて、本教材で習得・活用する読みアイテムを次のように考えた。

(活) 文末表現を読む
「来いよ。」「戦おうじゃないか。」の文末にこめられた、大造じいさんの残雪への思いを読む。

(活) 場面と場面をつないで読む
「思わず感嘆の声を」「ううんとうなって」をつないで、くやしさが、追い詰められた思いへと変わっていることを読む。

(習) 前書きの意図を読む
前書きの意味と役割から、作者と同じ立場で読んでほしいという強い思いを読む。

(習) 文章構成の工夫を読む
一年一場面の構成と一年ごとに一つの作戦が描かれている起承転結の文章構成の工夫を読む。

(習) 情景を読む
「東の空が真っ赤に燃えて」から、大造じいさんの、残雪との戦いへの気持ちの高まりを読む。

(習) 呼称の変化を読む
「あの残雪」「ガンの英雄よ」「えらぶつ」「おれたち」から、大造じいさんの残雪に対する見方の変化を読む。

このような指導・支援を行いながら

○ **つかむ段階**

- ・ 題名の「と」の働き、大造じいさんの人柄について読み取らせた後で、前書きを置いた作者の思い入れについて考えさせ、題名と前書きをつないで読みのめあてをつくらせる。
- ・ 4つの場面構成を押さえた後、大造じいさんと残雪の関係に着目して全文を読ませ、あらすじをとらえられるようにする。
- ・ 書きまとめさせた読みのめあての答えを小グループで交流させることで、自分の考えの根拠をはっきりとさせる。

○ **深める段階**

- ・ 学習計画をもとに中心文とそれにつながる叙述をはっきりとさせ、書き込みの視点を生み出す。
- ・ 練り合いの初めに、小グループによる交流の場を設定し、考えを付加修正することによって、根拠をはっきりとさせて話し合いにのぞむことができるようにする。また、終末でも交流の場を設定し、どの叙述をどう読んだのか、その結果何がわかったのかを明確にできるようにする。
- ・ 子どもが読み取ったことをカルテに整理し、考えの道筋を把握し、グループでの交流活動に生かす。

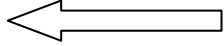
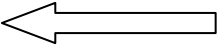
○ **まとめる段階**

- ・ 読み確かめたことをもとに題名や前書きに戻って読み直すことで、作品の主題を捉えることができるようにする。
- ・ 単元名に戻り、この学習でどんな読み方をして何がわかったのかを確認する。

このような目標を設定して学習指導を展開します

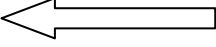
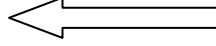
- 大造じいさんの残雪に対する見方や考え方の変容をとらえ、えものであるはずの残雪と堂々と戦おうとし、その行く末を心配する狩人としての生き方を読み取ることができる。
- 「場面と場面を比べて読む」読みアイテムを活用しながら、「前書きの意図を読む、情景描写を読む、呼称の変化を読む」読みアイテムを習得することができる。

3 学習指導計画と評価規準（全13時間）

		評価規準	ア 国語への 関心・意欲・態度	イ 読む能力
過程	配時		単位時間ごとの具体的な評価規準 数字は見通す活動・見直す活動での評価規準 ()は評価方法	
つかむ	1 / 13	<p>1 単元名「学習したことを生かして」について、話し合う。</p> <p>◎ 今までの物語文の学習でどんな読み方を身に付け、何を読み取ってきたのかについて話し合う。</p> <p>2 題名の「大造じいさんとガン」について話し合う。</p> <p>3 単元名と題名から読み取ったことをつないではじめの疑問を持つ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">大造じいさんとガンはどんな関係だろう。</div> <p>◎ 前書きから、大造じいさんについてわかることを読み取り、自分の読みを書く。</p>	<p>① 今までの学習で使った読み方や「千年の釘に挑む」「わらぐつの中の神様」で読み取ったことを積極的に発言している。</p> <p style="text-align: center;">(発言内容)</p> 	<p>(活) 助詞を読む</p> <p>「と」を「の」と比べて、何らかの関係があることを読み取っている。(プリント)</p> <p>① 「生き方」「関係」をキーワードとしてとらえ、自分の疑問を持っている。(プリント)</p>
	2 / 13 (4組本時)	<p>1 前書きから大造じいさんの人物像を読み取る。</p> <p>◎ 自分の書き込みをもとに、根拠となる叙述と前書きから読み取った大造じいさんの人柄、この作品への思い入れについて話し合う。</p> <p>2 前書きのはたらきを知り、作者のこの作品への強い思いを読み取る。</p> <p>(1) 作者のこの作品への思い入れについて話し合う。</p> <p>(2) 前書きから疑問を持つ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">作者は大造じいさんのガン狩りの話のどんなところが印象に残ったのだろう。</div> <p>3 題名と前書きをつないで読みのめあてをつくる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">読みのめあて 大造じいさんとガンのどんな関係が作者の心に残ったのだろう。</div> <p>◎ 明らかになった読み、読みのめあてをつくることのできた根拠の叙述を話し合う。</p>		<p>② 物語が始まる前にわざわざ文章をつけているわけを考え、作者の伝えたい思いがあることに気付いている。(発言内容分析)</p> <p>(既) 人物像を読む 前書きから大造じいさんの人物像を読む。</p> <p>(習) 前書きの意図を読む 前書きの意味と役割を読む。</p> <p>③ 「関係」「心に残った」をキーワードとして読みのめあてをつくっている。(プリント)</p>

	3 / 13	<p>1 全文を読み、あらすじをつかむ。</p> <p>◎ 場面構成をとらえる</p> <p>2 大造じいさんと残雪の関係がわかる叙述を場面ごとにおさえる。</p> <p>◎ 取り出した叙述をもとに自分なりにあらすじを話し、書きまとめる。</p>	←	<p>(習) 文章構成の工夫を読む</p> <p>一年一場面の構成と一年ごとに一つの作戦が描かれている文章構成を読む。</p> <p>④ それぞれの作戦の結果とその原因、大造じいさんの様子をつないで書いている。(プリント)</p>
	4 / 13	<p>1 作者の心に残った大造じいさんとガンの関係がどの場面に書かれているか考え、読みのめあての答えとその根拠を書きまとめる。</p>		<p>⑤ 文章構成の意図をとらえ、主題につながる物語の山場をとらえている。(プリント)</p> <p>⑥ 叙述から読み取ったことをつないで自分の考える大造じいさんと残雪の関係を書きまとめている。(プリント)</p>
	5 / 13	<p>1 読みのめあての答えを話し合う。</p> <p>◎ グループで、自分の考えとその根拠を話し合う。</p> <p>2 それぞれの考えとその根拠を発表し合い、共通点や相違点をはっきりさせる。</p> <p>3 話し合いの結果、はっきりしないことやわからないことをもとに読み確かめていく計画を立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【読みのめあての答えの方向】 作者は、大造じいさんと残雪の狩人と獲物の関係を超えた対等に戦う相手同士という関係が心に残ったのだと思う。</p> <p>【読み確かめの視点】 大造じいさんは残雪のことをどう思っているのだろう。</p> </div> <p>◎ 自分の考えを付加修正し、読み確かめていくことを確認する。</p>	<p>② 自分から友達の考えの内容や根拠を尋ね、進んで分類整理しようとしている。 (発言内容)</p> <p>③ 自分の考えの広がりや深まりを進んで付け加え、読み確かめていくことをはっきりさせようとしている。 (プリント)</p>	<p>⑦ 自分の考えを具体的に付加修正し、何を読み確かめていくかについて書きまとめている。 (プリント)</p>
深める	6 ・ 7 / 13	<p>1 学習計画をもとに、第1・2場面を読み確かめる。</p> <p>◎ 書き込んだことをもとにどの叙述をどう読んだかグループで交流する。</p> <p>2 最初は感嘆の声をもらしていた大造じいさんが、2度目の失敗でうなってしまったわけを叙述をつないで話し合い、万策尽きた大造じいさんの苦悩を読み取る。</p> <p>◎ 話し合ったことをもとに自分の考えを付加修正する。</p>	<p>④ 自分の考えやその根拠を話したり、友達の考えの内容や根拠を尋ねたりしている。 (発言内容・プリント)</p>	<p>⑧ 「感嘆」と「うなる」の意味を比べ、大造じいさんの気持ちの変化を読み取り、書きまとめている。 (プリント)</p> <p>(習) 文章構成の工夫を読む</p> <p>同じように書かれた2つの場面の中で意図的に変えて書かれた大造じいさんの姿から心情の違いを読む。</p> <p>⑨ それぞれの場面の最後の大造じいさんの姿から読み取ったことをつないで、大造じいさんの追いつめられた気持ちについて書きまとめている。</p>

8 / 13	<p>1 学習計画をもとに、第3場面を読み確かめる。</p> <p>◎ 大造じいさんの残雪に対する見方の変化が分かる叙述と読みアイテムを話し合う。</p> <p>2 話し合ったことをもとに、「ただの鳥に対してのような気が」しない大造じいさんが残雪のことをどう思っているかについて書き込む。</p> <p>◎ 書き込んだことをもとに自分の考えとその根拠を書きまとめる。</p>	<p>⑩ 「今年の一つこれを使ってみるか」という大造じいさんの姿からふと思いついた作戦であることに気付いている。(プリント)</p> <p>(習) 情景を読む</p> <p>「東の空が真っ赤に燃えて」から残雪との戦いへの気持ちの高まりを読む。</p> <p>⑪ 自分と残雪とを比べて心を強く打たれた大造じいさんの気持ちについて自分なりの表現で書きまとめている。(プリント)</p>
9 / 13	<p>1 第3場面と第1・2場面の残雪に対する思いをつないで、大造じいさんの変容を読み確かめる。</p> <p>◎ グループで自分の考えとその根拠を話し合う。</p> <p>2 大造じいさんが何に強く心を打たれたのかについて話し合う。</p> <p>3 残雪の姿と自分を比べ、卑怯だと感じながらも残雪を撃とうとした自分を恥ずかしく思う気持ちを読み取る。</p> <p>◎ 話し合ったことをもとに自分の考えを付加修正する。</p>	<p>⑫ 残雪の頭領としての生き方を貫く態度に感動し、自分を恥ずかしく思う大造じいさんの気持ちについて書きまとめている。(プリント)</p>
10 / 13	<p>1 学習計画をもとに、第4場面を読み確かめる。</p> <p>◎ 大造じいさんの残雪に対する見方の変化が分かる叙述と読みアイテムを話し合う。</p> <p>2 前の場面をつないで、大造じいさんの残雪に対する見方の変化が分かる叙述に、自分の考えを書き込む。</p> <p>・「ガンの英雄」「えらぶつ」「おれたち」「晴れ晴れ」「見守っていました」</p> <p>◎ 書き込んだことをもとに自分の考えとその根拠を書きまとめる。</p>	<p>⑬ 前の場面をつないで、残雪の頭領としての姿に感動した大造じいさんの尊敬の気持ちを読み取っている。(プリント)</p> <p>(活) 似た言葉を比べて読む</p> <p>「見守っていました。」「見ていました。」を比べて、残雪の無事を祈る大造じいさんの気持ちを読む。</p> <p>⑭ 読み取ったことをつないで、今度こそ堂々と戦いたいという大造じいさんの気持ちについて書きまとめている。(プリント)</p>

	<p>11 / 13</p> <p>(2組本時)</p>	<p>1 前の場面までで読み確かめたことと、第4場面をつないで、残雪に対する大造じいさんの見方の変容を読み確かめる。</p> <p>◎ グループで自分の考えとその根拠を話し合う。</p> <p>2 「おれたち」の叙述から、大造じいさんが残雪を対等に戦う仲間として見ていることを読み取る。</p> <p>◎ 話し合ったことをもとに自分の考えを付加修正する。</p>		<p>(習) 呼称の変化を読む</p> <p>「ガンの英雄」「えらぶつ」「おれたち」から、素晴らしい知恵や勇気を持ったガンだと尊敬し、対等に戦う仲間と思っていることを読む。</p> <p>⑮ 読み取ったことをつないで、大造じいさんの狩人としての考え方について書きまとめている。</p> <p>(プリント)</p>
<p>まとめる</p>	<p>12 / 13</p>	<p>1 読み取ったことをもとに読みのめあての答えを話し合う。</p> <p>◎ 題名が「大造じいさんと残雪」ではなく、「大造じいさんとガン」であるわけを話し合う。</p> <p>2 この作品を通して、作者が伝えたいことについて話し合う。</p> <p>◎ 話し合ったことをもとに自分の考えを書きまとめる。</p>		<p>⑯ 読み取ったことを手がかりとして、作者が伝えたい大造じいさんの狩人としての生き方について書きまとめている。</p> <p>(プリント)</p>
	<p>13 / 13</p>	<p>1 学習を振り返り、ことばや文章の読み方をまとめる。</p> <p>◎ 学習でどんな読み方を使ったかについてグループで話し合う。</p> <p>2 グループでの話し合いをもとに全体で読み方について確認する。</p> <p>◎ 自分の読み方について振り返る。</p>	 <p>⑰ 自分が使った読み方について具体的に振り返っている。(プリント)</p>	<p>(習) 文章構成の工夫を読む</p> <p>前書きには、物語の土台があり、物語の主題につながる読みの視点が含まれていることを確認する。</p>

5 本時の目標

- 残雪を、対等の関係で戦う仲間として大切に思い、無事を祈りながら飛び去っていく姿を見守っている大造じいさんの見方の変容から、狩人であるかぎり、生き物と対等の立場に立って堂々と戦い続けようとする大造じいさんの生き方を読み取ることができる。
- 「似た言葉と比べて読む・言葉ははずして読む・場面と場面をつないで読む」読みアイテムを活用しながら、「呼称の変化を読む」読みアイテムを習得することができる。

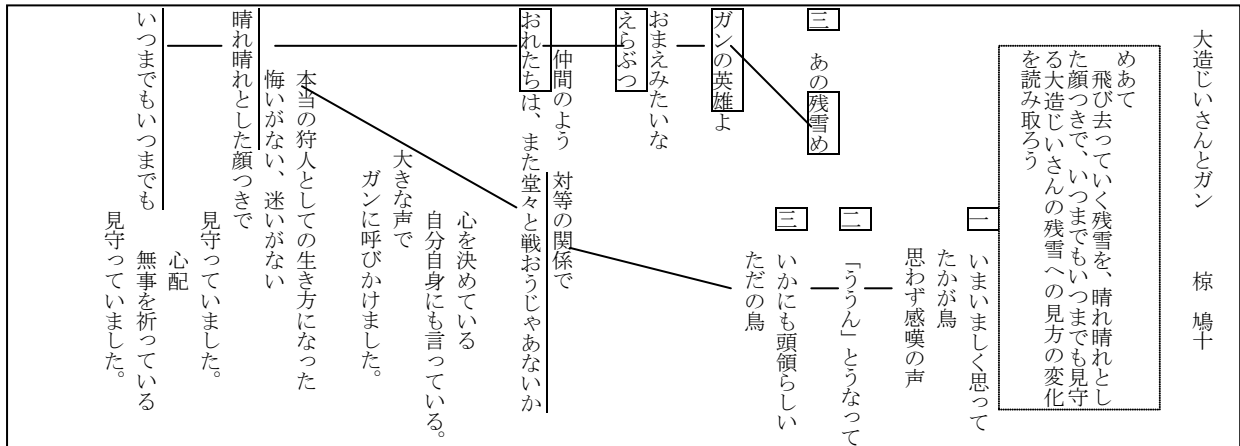
6 本時の授業仮説

こんな子どもたちに	こんな手だてをとれば	こうなるだろう
<p>前時までに子どもたちは、大造じいさんは残雪のことを、自分の命が危ない時でも仲間を守り、頭領として堂々としている勇気のあるすばらしい鳥だと思ってしまうようになってきていることを読み確かめている。4の場面では、「ガンの英雄」「えらぶつ」「堂々と戦おう」「見守っていました」などの叙述から、残雪を尊敬している、残雪の無事を祈っているなどのことを捉えている子どもが多い。しかし、「英雄」「おれたち」に込められた大造じいさんの思いまで読み取ることができている子どもは少ない。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> (活) 似た言葉と比べて読む (活) 場面と場面をつないで読む </div>	<p>【見通す活動】 小集団での交流の場を設定し、以下の手だてをとる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 読みの違い、根拠の違いによる意図的なグループ構成をする。 ・ グループでの交流を活性化させるために、座席カルテを活用して助言する。 ・ 自分が読んでいない叙述を意識させるために、教科書の言葉に青線を引かせる。 <p>【見直す活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの読みを構造的に板書し、どの言葉から何を読み取ったのか、視覚的にとらえられるようにする。 ・ 座席カルテを活用し、板書を指し示しながら助言をする。 	<p>【見通す活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達が読みの根拠にした叙述や使った読みアイテムがわかり、どこでどんな読みアイテムを使えば大造じいさんの残雪への思いの変化がわかるかをつかむことができる。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> (活) 似た言葉と比べて読む (活) 場面と場面をつないで読む </div> <p>【見直す活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 気付いていなかった根拠の叙述や読みアイテム、深まった読みを付加修正し、どの言葉から何を読み取ったのかを明らかにすることができる。 ・ 大造じいさんが、残雪を対等の関係で戦う仲間としてとらえ、行く末を見守っていることを書きまとめることができる。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> (習) 呼称の変化を読む </div>



7 準備

- 教師…前時までの学習の足跡を記した掲示物、一人ひとりの考えを把握したカルテ
- 子ども…読み取りプリント

8 板書計画



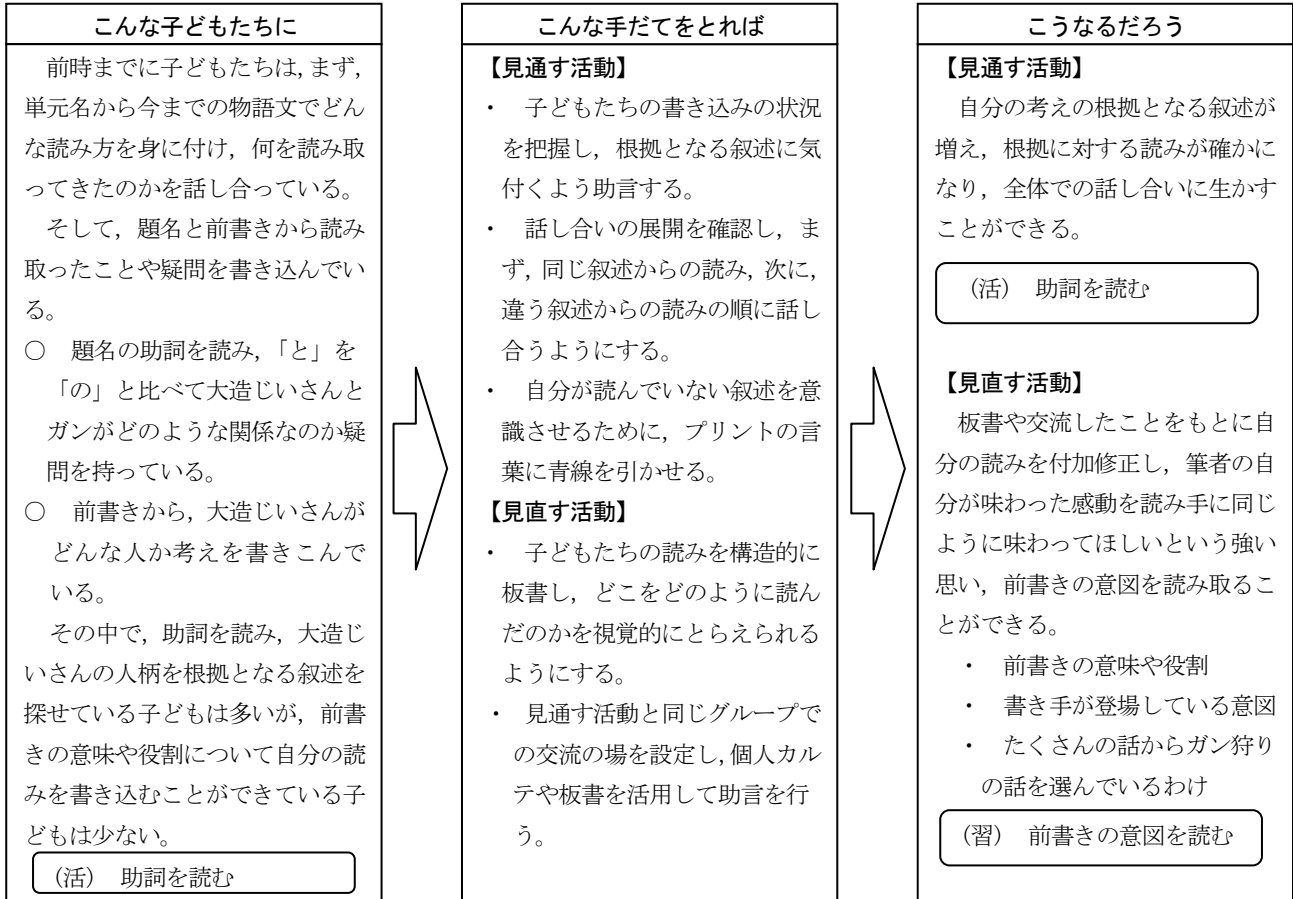
9 本時の展開

学習活動と内容	指導・支援(☆は習得, ★は活用)
<p>1 本時の学習のめあてを確かめる。</p> <p>(1) 本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>めあて 飛び去っていく残雪を、晴れ晴れとした顔つきで見守る大造じいさんの残雪への見方の変化を読み取ろう。</p> </div> <p>(2) 見通す活動を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【見通す活動】 グループで、どの言葉に立ち止ってどんな読み方をしたのか、叙述とアイテムの確認をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">  <ul style="list-style-type: none"> ・ 前の場面の「強く心を打たれて」と「ガン of 英雄」をつないで読みました。 ・ 「見守っていました」と「見ていました」を比べて読みました。 </div> </div> <p>2 書き込みをもとに話し合う。</p> <p>(1) 大造じいさんの残雪に対する見方の変化について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 残雪を、尊敬できるライバルと思っていること ○ 見えなくなるまで残雪の無事を願っていたこと <p>(2) 残雪の呼び方が変わっていることから、大造じいさんの見方の変化について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 獲物と狩人としてではなく、対等に戦う仲間として見ていること ○ 残雪の素晴らしいさを認め、堂々と戦おうとガンと自分に言うことで、気持ちがすっきりして「晴れ晴れとした顔つき」になったこと 	<p>○ 学習計画の掲示物をもとに、本時どの言葉に立ち止まって、何をはつきりさせるのかを明確にする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大造じいさんの残雪への思いの変化について、どの言葉から何を読み取ったのか発表させる。 ○ 自分が読んでいない叙述を意識させるために、教科書の言葉に青線を引かせる。 ○ グループでの交流を活性化させるために、座席カルテを活用して助言する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ★ 似た言葉と比べて読む ★ 場面と場面をつないで読む </div> </div> <p>○ 子どもの読みを把握したカルテをもとに、意図的な指名を取り入れながら、読みのよさを生かした話し合いを展開する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ★ 似た言葉と比べて読む 「英雄」と「頭領」を比べ、人間でもできないようなことをして仲間を守った残雪への尊敬の思いを読み取らせる。 </div> <p>○ この場面には残雪の呼び方が何種類かあることを確認し、「おれたち」をはずして読んだり、「おれとおまえ」と比べて読んだりして、作者がその言葉を選んだ理由を考えさせることで、残雪を対等に戦う仲間として見ている大造じいさんの見方の変化をとらえることができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ☆ 呼称の変化を読む 「ガン of 英雄」「えらぶつ」「おれたち」から、素晴らしい知恵や勇気を持ったガンだと尊敬し、対等に戦う仲間と思っていることを読み取らせる。 </div> <p>○ 「ガンに呼びかけました」から、言葉のわからないガンになぜ呼びかけるのか問い、大造じいさんが自分自身にも言い聞かせることで、狩人としての誇りを取り戻していることをとらえさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの読みを構造的に板書し、どの言葉から何を読み取ったのか、考えの道筋を視覚的に捉えられるようにする。 ・ 座席カルテを活用し、板書を指し示しながら助言をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ☆ 呼称の変化を読む </div> </div>
<p>3 本時学習を振り返り、まとめをする。</p> <p>(1) 見直す活動を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【見直す活動】 話し合いを通して確かになった大造じいさんの残雪への見方をグループで話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">  <p>大造じいさんは、残雪のことを獲物としてではなく、対等に戦う仲間として見ていることがわかりました。もう一度正々堂々と戦うために、残雪の無事を祈りながら、見守っていました。</p> </div> </div> <p>(2) 見直す活動で話し合ったことをもとに、「今日の学習で」を書く。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 代表の子どもに、本時に読み確かめたことを板書を使って発表させることで、どの子どもも自分の考えを書きまとめることができるようにする。 ○ 机間指導をしながら、板書をもとに考えをたどって書くことができるよう助言する。 </div>

5 本時の目標

- 仲間の狩人たちに慕われている大造じいさんの人柄と作者のこの作品への強い思いを読み取り、自分の読みのめあてをつくることができる。
- 「助詞を読む」読みアイテムを活用しながら、「前書きの意図を読む」読みアイテムを習得することができる。

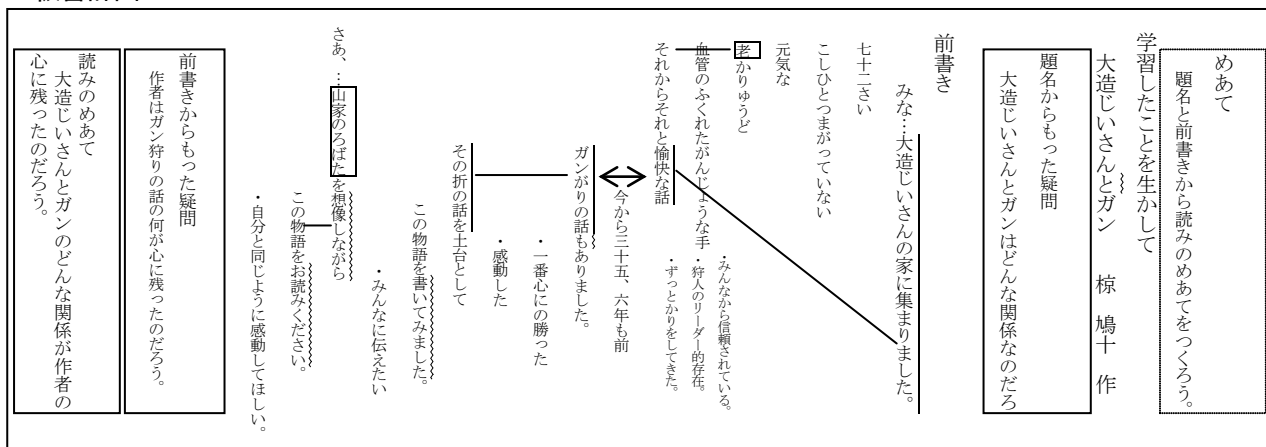
6 本時の授業仮説



7 準備

- 教師…一人一人の考えを把握したカルテ
- 子ども…読み取りプリント

8 板書計画



9 本時の展開

学習活動と内容	指導・支援(☆は習得, ★は活用)
<p>1 本時の学習のめあてを確かめる。</p> <p>(1) めあてを確かめる。</p> <div data-bbox="327 309 1134 387" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>めあて 題名と前書きをつないで読みのめあてをつくろう。</p> </div> <p>(2) 見通す活動を行う。</p> <div data-bbox="161 441 761 840" style="border: 2px solid black; padding: 10px;"> <p>【見通す活動】 グループで自分の書き込みをもとに、読みと根拠の叙述を話し合う。</p> <div data-bbox="188 712 263 788" style="float: left; margin-right: 10px;"></div> <div data-bbox="279 571 734 817" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・血管のふくれたがんじょうな手と書いてあるから、大造じいさんは力強くベテランのかりゅうどだと思います。 ・ガンがりの話もところどころから、たくさん話の中からこの話を作者は伝えたかったのだと思います。 </div> </div> <p>2 書き込みをもとに話し合う。</p> <p>(1) 大造じいさんの人物像について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大造じいさんが、皆に信頼されている、狩人のリーダー的存在だということ ○ 経験豊かな狩人であるということ <p>(2) 作者のこの作品への思い入れについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ガン狩りの話は35、6年前の話なのに、たくさん話の中でも特に心に残った話であること ○ 作者と同じ立場で読んでほしいという強い思いがあるということ <p>(3) 前書きから疑問をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 作者は大造じいさんのガン狩りの話の何が心に残ったのだろう。 <p>3 本時学習をふりかえり、まとめる。</p> <p>(1) 題名と前書きをつないで読みのめあてをつくる。</p> <div data-bbox="167 1523 758 1601" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>大造じいさんとガンのどんな関係が作者の心に残ったのだろう。</p> </div> <p>(2) 見直す活動を行う。</p> <div data-bbox="161 1637 761 1964" style="border: 2px solid black; padding: 10px;"> <p>【見直す活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 話し合いで分かったことをグループで話す。 ・ 明らかになったことを自分の考えに付加修正する。 <div data-bbox="188 1841 263 1917" style="float: left; margin-right: 10px;"></div> <div data-bbox="279 1780 734 1937" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>・ 私は、前書きで読み方を指定していることから、ガン狩りの話を聞いて、作者は自分と同じ感動を味わってほしいと願っていることが分かりました。</p> </div> </div> <p>(3) 見通す活動で話し合ったことをもとに、「今日の学習で」を書く。</p>	<p>指導・支援(☆は習得, ★は活用)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもたちの書き込みの状況を把握し、根拠となる叙述に気付くよう助言する。 ○ 話し合いの展開を確認し、まず、同じ叙述からの読み、次に、違う叙述からの読みの順に話し合うようにする。 ○ 自分が読んでいない叙述を意識させるために、プリントの言葉に青線を引かせる。 <div data-bbox="885 728 1209 784" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>★ 助詞を読む</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 一人一人の読みを把握したカルテをもとに、意図的な指名も取り入れながら、読みのよさを生かした話し合いを展開する。 ○ 作者がなぜ今から35、6年も前の話を土台としたかを問いかけ、大造じいさんの狩人としての生き方につながるのではないかとすることに気付かせる。 <div data-bbox="810 1120 1407 1317" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>★ 助詞を読む。 「ガンがりの話もありました。」の「も」に着目し、沢山の話の中から作者がガン狩りの話を選んでいるのは、ガンがりの話に対する強い思いがあるからだということに気付かせる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 作者が物語の前に付け加えた文（前書き）があるのはなぜかを問い返し、作者の伝えたいことに対する疑問をもたせる。 <div data-bbox="810 1444 1407 1601" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>☆ 前書きの意図を読む 前書きから、書き手が登場している意味や書き手がたくさん話の中からガン狩りの話を選んでるわけを考えさせる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 題名から「と」が関係を表す働きをしていたことを再確認し、前書きから読みとったこと、疑問をつなぐことで、読みのめあてをつくることができるようにする。 <div data-bbox="817 1724 1407 1982" style="border: 2px solid black; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもたちの読みを構造的に板書し、どこをどのように読んだのかを視覚的にとらえられるようにする。 ○ 見通す活動と同じグループでの交流の場を設定し、個人カルテや板書を活用して助言を行う。 <div data-bbox="885 1915 1209 1971" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>☆ 前書きの意図を読む</p> </div> </div>